

第5の柱

ふるさとづくりへの挑戦

市民や地域と協働し、地域力あふれるまち

その1 まちづくりを進めるための基盤を整える

加速する人口減少・少子高齢化に加え、不安定な国際情勢、ウィズコロナ時代の到来など、社会のあり方が大きく変わろうとしている中、第2次たつの市総合計画後期基本計画の着実な実行により、本市の地域資源や地域特性を最大限活用した持続可能なまちづくりを推進します。

また、ホームページや広報誌、SNSをはじめ、世代に応じた発信方法を採用し、市政情報を戦略的に発信することで、より多くの市民に効果的に市政情報を届けられるよう取り組みます。さらに、SNSの登録者数の増加および市民の市政への参加を促進するため、SNSを通じて市内観光地等で撮られた写真を募集し、広報たつ

の表紙等として採用する「広報写真コンテスト」を開催します。



LINE等のSNSを積極的に活用し、市政情報を戦略的に発信

その2 多様で活発な交流を促進する

コロナ禍を機に、地方移住への関心が高まる中、オンラインや対面での移住相談会のほか、各種媒体を効果的に活用した情報発信を行い、関係人口の創出および首都圏からの移住・定住を促進します。

また、若者の定住促進を図るため、貸与型奨学金の返還を支援することで、若者の転出抑制および転入促進を図ります。

国内交流・地域交流の推進については、東京たつの懇話会をはじめ、たつのふるさと親善大使事業に取り組み、市政のPR、情報交流、人的ネットワークの強化に努めます。また、たつの市友好

協会を中心として、姉妹都市間での市民団体の主体的な交流活動の促進を図ります。



令和4年度には、お笑い芸人「インディアン」の田淵章裕さんがたつのふるさと親善大使に就任

その3 健全で効率的な自治体運営を推進する

デジタル化の推進については、令和4年10月に策定した、たつの市デジタル・トランスフォーメーション推進基本方針(TDX)に基づき、自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた取り組みや行政手続のオンライン化を着実に進めるとともに、手続総合案内による「書かない窓口サービス」により、市民サービスの向上と業務の効率化を図ります。

また、自宅等に居ながら公共施設の空き状況の確認や施設予約ができるよう、兵庫県が導入し

た公共施設予約システムの共同運営に向けた取り組みを行うほか、国が支援する都市計画情報のデジタル化に合わせ、3D都市モデルの整備を進め、都市データの可視化、オープンデータ化を図るとともに、河川氾濫を想定した浸水シミュレーションなど、防災・減災への取り組みに活用します。



デジタル技術を活用し、市民の皆さんの利便性向上と業務の効率化を図るため、TDXの取り組みを加速

JR本竜野駅西側の公共施設等については、施設の集約・複合化に向けた民間活力による施設整備を検討するため、民間の参入動向や参入条件について、サウンドイング調査を行うほか、未利用となっている旧県営崎崎住宅跡地については、地域の状況を踏まえ、戸建て住宅地として売り払いを実施します。

たつの市職員の人事異動

市は、次の3つの基本方針を基に、4月1日付で人事異動を行いました。異動総数は、257人です。

1 具体的な項目

健康福祉部門の体制強化
女性職員を積極的に管理監督職へ登用
効果的・効率的な市政運営に対応した組織

健康福祉部を「福祉部」と「健康部」に再編
女性職員を積極的に管理監督職へ登用
女性活躍推進法に基づく女性職員の更なる活躍を推進するため、積極的に管理監督職へ登用するほか、管理部門を始め、各部署に女性職員を幅広く配置します。

効果的・効率的な市政運営に対応した組織
限られた人的資源と財源の中で、市の重要課題に対応した効果的・効率的な行政運営ができる組織づくりに努めます。

危機管理監の直下に「危機管理課」を設置
企画財政部に「ふるさと創造課」を新設（ふるさと納税係、交通政策係）
まちづくり推進課定住促進係を再編（定住促進係、空き家対策係）

理事・部長級

- ▼理事(兼)福祉部長(兼)福祉事務所長 山根 洋二 ▼理事(兼)産業部長 西田 豊和 ▼危機管理監(部長級) 内田 裕康 ▼市民生活部長 小松 精二 ▼健康部長 和田 利恵 ▼都市建設部長 野村 順一 ▼都市政策部長 菅野 博人 ▼上下水道部長 石井 和也 ▼教育事業部長 森本 康路 ▼議会議務局長 近藤 伸也

参事級

- ▼新宮総合支所長 喜多村 玲 ▼揖保川総合支所長 土井 富生 ▼総務部参事(兼)総務課長 森川 智司 ▼市民生活部参事(兼)環境課長 坪内 利博 ▼福祉部参事(兼)地域福祉課長 石原 重雄 ▼福祉部参事(兼)高齢福祉課長 藤元 崇巨 ▼産業部参事(兼)農林水産課長(兼)産業振興センター館長 山内 重憲 ▼都市政策部参事(兼)都市計画課長 古本 寛 ▼上下水道部参事(兼)下水道管理課長 小林 雄二 ▼教育事業部参事(兼)スポーツ振興課長 倉元 竜也

課長級

- ▼危機管理監危機管理課長 山本 高司 ▼総務部納税課長

課長級以上の異動者は次のとおりです。

- 武内 喜典 ▼企画財政部工事検査員 三宅 雅仁 ▼企画財政部企画課長 杉本 典彦 ▼企画財政部ふるさと創造課長 三木 康弘 ▼企画財政部広報秘書課長 中矢 建章 ▼市民生活部市民生活総合緊急対策支援担当課長(兼)市民課長 岡 千加子 ▼市民生活部国保医療年金課長 梅田 祐子 ▼福祉部児童福祉課長 八木 祥子 ▼健康部健康課長 小西 善浩 ▼健康部健康課長 西 師 花畑 千代美 ▼健康部地域包括支援課長 奥林 真寿美 ▼産業部観光振興課長 久保田 英喜 ▼都市政策部町並み対策課長 高橋 秀人 ▼上下水道部上下水道課長 山本 雅人 ▼上下水道部下水道施設課長 菅原 朋茂 ▼教育管理部教育総務課長 岩田 昌喜 ▼教育管理部すこやか給食課長(兼)中央学校給食センター所長 清水 裕之 ▼教育管理部揖西中こども園長 淀澤 郁代 ▼教育管理部新宮こども園長 北條 ゆかり ▼教育事業部社会教育課 主 席 司 書 龍 野 図 書 館 長 河 部 恭 子 ▼会計課長 横田 政 人 ▼監査事務局(併)選挙管理委員会事務局(併)龍谷 公平委員会書記長 熊谷 友 宏 ▼都市建設部用地課長 濱 井 英 信

▼総務課 (64・3101)



4月3日から「おくやみ相談窓口」を開設

死亡に伴う市役所でのさまざまな手続きをわかりやすく、スムーズに行えるよう「おくやみ相談窓口」を開設しました。必要な手続きのご説明や申請書類の作成をお手伝いします。

受付時間 平日 8時30分～18時(予約不要)

と ころ 市役所本館1階 国保医療年金課

概 要

- ・案内板を表示し、ご遺族の方がどこで手続きをしたらいいのかという不安を解消します。
- ・故人によって必要な手続きが異なるため、職員がご遺族に聞き取りを行い、必要な手続きをご説明します。
- ・市役所で提出する申請書等に、故人や申請者の氏名・住所等、基本的な情報を印字し、何度も同じ内容を手書きする手間を軽減します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください



※全ての手続きがおくやみ相談窓口で完結するものではありません。手続きの内容によっては、担当窓口をご案内します。
※おくやみ相談窓口を利用せず、直接担当窓口でお手続きすることもできます。

▶国保医療年金課 (64・3240)